

SOTOKU

崇徳学園同窓会
関東支部
会報
— 第26号 —

発行：崇徳学園同窓会関東支部 編集：支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-20

http://www.geocities.jp/sotoku_kanto/ mail:sotoku_kanto@yahoo.co.jp

TEL (03) 3812-1211(代) FAX (03) 3816-1218

「夢に向かって頑張れる」子ども教育が求められています。

— 幅広い人材教育の母校をみんなで支援しましょう!! —

崇徳学園同窓会関東支部会長

黒川 弘 (昭和33年卒)

昨年から本年世界は激動。中東のシリアとイラクでのIS(自称イスラム国)テロへのトルコとロシアや米国連合の空爆攻撃、市街地テロも一昨年に続き、ベルギー、トルコ、仏ニース、ベルリン、ロンドン、露サンクトペテルブルグ等で発生。各国首脳の交代では台湾蔡英文総統、ミャンマー政権の交代、フィリピンのドゥテルテ大統領、ブラジルのルセフ大統領弾劾、11月米国大統領選挙でトランプ氏が勝利、韓国朴槿恵大統領弾劾・罷免・逮捕と続く。また北朝鮮は昨年の核実験やミサイル実験に続き本年も弾道ミサイル発射の動きが続き、さらにマレーシアでの金正男氏暗殺が。中国は南シナ海での人工島でオランダハーグ常設仲裁裁判所の根拠なし判決にも無視。特に6月英国のEU離脱国民投票と米国トランプ大統領の当選は、グローバリズムから本国第一主義への大転換と既存権利集団と一般市民との戦いの勝利とされ、今後の世界経済の動きが注目されています。

日本も激動。8月天皇陛下は国民に高齢による退位のお気持ち発言と政府や国会の動き。両陛下は2月ベトナムとタイをご訪問。7月伊勢志摩G7サミット・伊勢神宮訪問とオバマ大統領の被爆地広島訪問、日銀のマイナス金利、集団自衛権の関連法施行、消費増税二年半先送り、「一億総活躍プラン」閣議決定、選挙権18歳の改正公職選挙法施行、7月小池百合子都知事当選、8月ブラジルのリオ五輪で日本41メダル、会場や築地・豊洲移転が再燃。9月参議院与党大勝。12月ロシアのプーチン大統領が訪日、年末安倍首相が真珠湾を訪問しオバマ会談。お目出度いのは稀勢の里の日本人として久しぶりの横綱昇進と連続優勝。昨年3月北海道新幹線開業、9月広島カープが25年ぶりセ・リーグ制覇、10月ノーベル医学生理学賞に大隅良典東工大名誉教授、また伊調馨が国民栄誉賞受賞、11月元素113番「ニホニウム」命名。災害や事件では、1月軽井沢で大型スキーバスの転落、4月熊本県で震度7の地震連続その後も続く、8月台風10号で岩手県岩泉町の老人施設被災、12月糸魚川市の大規模火災。本年3月那須スキー場雪崩で高校生ら8名死亡、企業ではシャープ被買収、三菱自動車の燃料不正、プロ野球賭博問題、電通の長時間労働で強制捜査、東芝の原発業務での停滞、大阪府の森友学園の問題等。

教育の動きでは、安倍首相の所信表明「わが国の未来は子どもたちで、子どもたちが夢に向かって頑張れる国造りを目指し」「個性を大切に教育再生」を進めると。文部科学省は小中学校の学習指導要領と幼稚園の教育要領の改訂を公表。「主体的・対話的で深い学び」の実践に、各教科の目標や内容を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の三観点から再構築。高校の指導要領は2017年度に改訂の予定。指導要領の全面実施は小学校は20年度、中学校は21年度で、高校は22年度以降の入学生に適用。ポイントは思考力や表現力の涵養と小3年からの英語教育。

助けあい支えあいの仏教精神のもと知徳体のバランスのとれた全人格教育を行う母校は、本年も将来を担う高校397名、中学58名の新生諸君を迎え、在校生1473名。また高校卒業生は382名で、大学進学合格者は、国公立大63名、私立大等456名合計501名と大活躍。国公立大では、京都大2、大阪大、大阪教育大、横浜市大、広島大3、山口大15、島根大3、香川大、愛媛大2、県立広島大6、広島市立大7、尾道市立等が、関東私立では、早稲田大3、学習院2、明治4、青山学院2、立教、中央3、法政6、日本大8、東洋大3、立正2、専修9、東京歯科大3、日本歯科大、東京理科大3、東海2、帝京2、成蹊大4、東京工科大、東京都

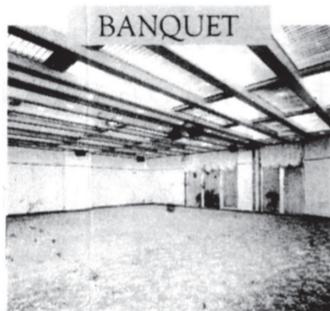
7月7日(金) 18:00より本郷三丁目に集まろう。

都心に近く、騒音に遠く交通至便の所
優雅・閑静本郷随一の

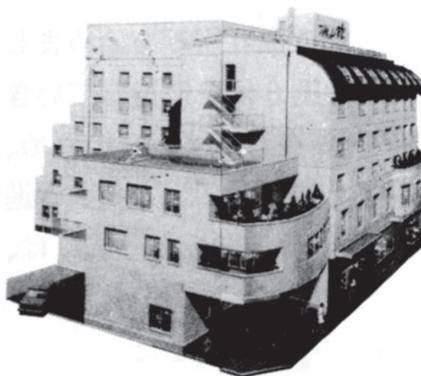
ホテル 機山館

代表取締役 重本 康成
(昭和48年卒)

株式会社 機山館
〒113-0033
東京都文京区本郷4-37-20
TEL (03) 3812-1211(代)
FAX (03) 3816-1218



最新の設備を整えた宴会室。
大小5ヵ所の部屋(5名~150名収容)をご用意。
照明、音響など、どれをとっても重厚かつ格調ある空間づくりです。
会議室としてもご利用いただけます。



市大、流通経済2、神奈川工大2等が、関西では関西大7、関西学院3、同志社4、立命館16、近畿大6、龍谷大26等が、また地元広島では、広島経済大38、広島工業63、広島国際17、広島修道62、広島国際学院3、東広島近畿大14、比治山15、広島文化学園、広島都市学園9、福山大3等の合格。進学された大学生の皆様のご活躍を期待。

スポーツでも母校は大活躍で、1月東京体育館の第69回全国高校バレー選手権は一回戦に別府鶴見が丘高に勝つが二回戦で近江高に残念。3月日本武道館の第39回全国高校柔道選手権には、個人戦の60kg出口君、81kg堀口君、無差別級長岡君と団体戦で母校の元気な後輩が熱戦、団体はベスト4に入り第三位。OBも、4月末の全日本柔道選手権全国大会では21上川大樹、20下和田翔平、27香川大吾が活躍。また第18回全国高校選抜ラグビー大会32校が4月に埼玉県熊谷スポーツ文化公園で行われ、母校は推薦枠で初めて全国大会出場です選りリーグ3敗の残念。これらの試合には関東の同窓会も熱のこもった応援でした。

3月退職の吉田義視前校長に感謝し、後任の56高木哲典新校長には宜しくお祈りします。また同窓会事務局長御退任の59田部哲夫氏に感謝し後任の平2樽本秀幸局長には宜しく。

関東支部は現在500余名ですが、平成28年度の第29回関東支部総会は、7月2日(土)東京・文京区の「ホテル機山館」(48卒重本康成氏経営)で、約50名が参加して開催。33黒川弘関東支部会長は、東工大、早大等の関東の大学に多くの後輩が進学されたことを歓迎し、またこの一年、母校の選手諸君の関東での活躍に同窓会も応援に駆けつけた報告、1月の68回全国高校バレーではベスト8に進出し活躍。3月の38回全国高校柔道選手権では団体戦でベスト8の敢闘賞また個人戦では4階級に出場し66kg級東君が準優勝、無差別級の長岡君は3位など選手諸君の健闘をたたえる。さらに24岩部金吾東京広島県人会副会長の「明元素人生」の出版及び49倉本昌弘日本プロゴルフ協会会長は2月に再選され、昨年後半日本経済新聞夕刊一面の「あすへの活動」にコラムが毎週土曜日に掲載され、母校の文武両道の教育の素晴らしさと今後への期待を表明されたことに感謝。続いて、御来賓の40奥田耕造新理事長から母校の創立141年からの教育強化と校舎整備の方針、同窓会の51山本千曲会長から幅広い同窓会活動の一層の強化策、吉田義視校長から国公立を含む大学合格の大幅な成果と本年インターハイ出場クラブの紹介などを含めてご挨拶がありました。そして55田村淳氏の司会と重本事務局長の説明で関東支部の昨年度の事業報告決算と28年度の事業計画予算を審議し同意。そして、50柳家福治師匠の楽しい落語一席のご披露を楽しみ、懇親会は、福治師匠の司会で、23三戸寿昭氏の元気な乾杯で始まり、平3松本清神奈川県議、33高橋乗宣前理事長、本部の田部哲夫局長、樽本事務局担当、38川本敏生関西幹事長、また東京広島県人会でご活躍の49津川博光氏、38善本正教ボクシング部OB、創立70周年の51藤井康司バレーボール部OB、菊丸師匠を含め全員の自己紹介が。そして相互懇談とビンゴゲームを楽しみ、29瀧口裕行総括副会長の閉会の挨拶、全員輪になっての母校の校歌「二葉山」の斉唱、全員の記念撮影で、お開きになりました。

本年の総会は7月7日(金)夕方です。本部の同窓会長、理事長、校長もご出席の予定で母校の活動報告もあります。青壮老の皆様幅広い出席で第30回の総会を大いに盛り上げましょう。大学生は無料。声を掛け合いのご参加や一人でのご参加、家族同伴の参加も歓迎。

昨年9月24日(土)ホテルグランピア広島での本部同窓会には私と室崎副会長・藤森・幸田・藤井・応武の幹事が出席し、柳家福治師匠の元気な落語のご披露があり、現役グリークラブの生徒さんの合唱に続き、山本同窓会長から幅広い同窓活動の一層の推進の決意表明と奥田理事長、吉田校長の御挨拶があり、私は締めの方歳三唱と関東支部の現況の報告をしました。関東支部ゴルフ会は11/28日総武カントリークラブ15人参加で、44大浜達矢氏が優勝です。4月16日の関西支部総会には私と藤井が出席し、お祝いを申し上げます。

なお広島の母校は校舎の建替えが28年度に始まり31年3月完成を目指しており、同窓会等が中心での建設資金の寄付をお願いしており関東の皆様にも宜しくお祈りします。

関東同窓のご活躍では県人会副会長の24岩部金吾氏が1月の県人会の壇上で挨拶をされ、同日県人会は組織変更で役員を大幅に減じ、岩部先輩には長い間有難う御座いました。

44古今亭菊丸師匠と50柳家福治師匠は、落語二人会(池袋演芸場)や地元広島での横川落語会を含め、健康は笑いからで、全国で大活躍されています。49倉本昌弘日本プロゴルフ協会会長は再選されご活躍中ですが、オリンピックのゴルフ会場に関し、3月には埼玉県の霞ヶ関カントリー倶楽部の会員の女性参加の規約改正があり、大変ご苦労さまでした。

また33高橋乗宣前理事長の毎週金曜日刊ゲンダイの「日本の経済・一歩先の真相」も激動の世界や日本の大きな動きのご示唆

経営労務コンサルタント



小笠原経営労務事務所

代表 小笠原真二

社会保険労務士 昭和35年卒
二級建築士 特殊建築物調査資格者

〒152-0003
東京都目黒区碑文谷3-13-16
TEL&FAX: 03-6906-7577
携帯電話: 090-1042-9388
E-mail: sc-ogasawara@japan.email.ne.jp

取締役会長

瀧口 裕行 Hiroyuki Takiguchi

昭和29年卒

株式会社 アルファワールド

〒194-0032 東京都町田市本町田197-10
TEL. 042-812-3005 FAX. 042-812-3005
E-Mail jose-hiroyuki@ab.auone-net.jp

は大変楽しみです。また本年4月から龍谷大学学長に就任された49入澤崇教授は、「ときめき」と向上心の重要性を指摘され、龍谷ミュージアム館長や文学部長での仏教学の権威ですが、幅広い視点でのご活躍を期待します。私は地域創生を目指す「地域マネジメント学会」の会長で活動、3月には第25代専如門主の伝灯奉告法要で西本願寺参拝。

さて我々同窓は、母校の活動の強力な支援とともに、新しい社会づくりや地域づくりに家庭、地域、学校の総ぐるみの活動の中で、経験の語りや行動で積極的に「絆」社会の構築に参加しましょう。同窓会は母校への思いを基礎に「青壮老」全員参加です。学生さんも、現職の方も、会社を卒業され地域や孫教育や趣味やスポーツに意欲的に参画されている方も、是非積極的に御参加下さい。ゴルフ会も多くの会員が楽しみ活躍中です。幹事への自薦他薦大歓迎。幹事会は渡部代表幹事、瀧口総括、重本局長のご指導の下、年5回程度です。「崇徳応援旗」もあり、生徒さんやOBの活動の応援に必要なときは皆で一緒に駆けつけましょう。宜しくお願いします。合 掌 (稔・弘教)

理事長挨拶

崇徳学園理事長 **奥田 耕造** (昭和40年卒)

皆さん今日は今年も呼んで頂き有り難うございます。崇徳学園理事長の奥田耕造です。崇徳学園関東支部総会が機山館で開催され、皆さんの元気な姿を拝見できる事は大変喜ばしい出来事であり、何時までも続くことを願っています。

さて皆さんも承知されていると思いますが、崇徳学園は現在ハード面、ソフト面の大改造を行っています。ハード面では、旧校舎を取り壊し、新校舎を建築中です。通常通りの授業を行いながらの事なので、生徒や先生や事務職員の大変な協力を得て進行中です。全ての完成予定は2019年3月を予定しており、順調に進んでいます。ソフト面では、学園教育改革構想の具現化のため、改革準備本部と改革準備室を設置し、メンバーには学事経験の豊富で知見がある、中村理事、山田理事、法律面での整合性には、大本副理事長、学園財政面での観点から東理事、学園教員からは、高木校長理事、高校教頭、中学教頭、生活指導部長、広報部長などです。皆さんの改革にかける熱い思いをベースに、崇徳学園の目指す教育を、安定して短期、中期、長期に向けて生徒、保護者、同窓生、地域の人々から大きな期待をもらい続ける事が出来る様にして行きたいと思っています。今後とも皆様の協力とご支援を宜しくお願い致します。

校長挨拶

崇徳中学高等学校 校長 **高木 哲典** (昭和56年卒)

4月から校長に就任いたしました高木哲典です。7年間にわたり崇徳中学・高等学校長を務められ、学園のために大変ご尽力された吉田義視先生の後任として、重責を担うことになりました。崇徳学園は、現在、校舎の建て替えと時代に即した教育への改革を進めており、ハードとソフトの両面からとても大切な時期を迎えています。本校卒業生の一人として、崇徳学園の一助となれるよう私なりに精進して参りますので、関東支部の同窓のみなさまには、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、昨年秋の広島は、広島東洋カープの25年ぶりの優勝で盛り上がりました。マツダスタジアムでのカープファンの応援ぶりはすごいものでしたが、東京ドームでの試合も、まるで広島かと思うほど熱の入った応援でした。選手にとっては、ファンの応援が何より有り難い力となったと思います。昨年のカープは、ベテラン選手がチームの中心として若手選手を引っ張り、若手選手は先輩の姿から多くのことを学ぶといった、チームが一丸となって戦うことができる環境が整い、それぞれ選手が自分の持ち味を発揮することができたからこそ優勝できたのだと思います。崇徳学園においても、各界でご活躍されている先輩方から学び、同窓の方々のご協力をいただき、私たち教職員が一丸となって精進していくことが、崇徳学園の更なる発展へと結びついていくと考えます。そのためには、同窓の方々の暖かい応援とご支援が必要となりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、校舎建て替え中の学校の様子と、それぞれの夢の実現に向けて自分らしく頑張っている後輩たちの様子についてお伝えします。

4月7日、大きめな学生服に袖を通して夢と希望に満ちて入学した中学1年生58名、落ち着きを見せながらも初々しく入学した

BX
文化シャッター

取締役 相談役
岩部 金吾 (S24年卒)

文化シャッター株式会社
〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3
TEL.03(5844)7111
http://www.bunka-s.co.jp/

フロントやドアのある開口部、仕切りが無い開口部に

**工事不要の
カンタン浸水対策。**

開口部に金具で固定するだけなので、様々な場所に取り付け可能。設置後にまたいで出入りすることもできます。

- 簡単スピード設置
- 様々な開口部に取り付け可能
- 工事不要で導入可能

BX止水板
ラクセット

シャッターまたはフロントのある開口部に

**急な増水時も
スピード設置。**

女性ひとりで持ち運びできる軽さで設置もカンタン。土のうのデメリットを解消し緊急時に備えます。

- 軽量
- スピード設置
- コンパクト収納

簡易型止水シート
止めピタ

高校 1 年生 398 名が崇徳学園の仲間入りをしました。中学校は 184 名の 7 クラス、高等学校は 1294 名の 39 クラス、中学高校合わせて 1478 名の 46 クラスで、2017 年度をスタートしました。現在、創立 150 周年をめざした学園の改革事業の一貫として、校舎の建て替えを 3 期に分けて行っています。立て替え中は教室数にゆとりがなく厳しい対応を迫られていますが、教室や選択教室を確保し、生徒たちの学校生活に支障をきたさないよう工夫をしているところです。建設の概況をお知らせすると、1 号館と 2 号館の間にあった中庭部分に仮設校舎を建設。2 号館とスクールプラザにかけて中学棟（仮称）が今年 7 月の完成予定で工事が進められています。その後、来年 4 月の完成を目指して 3 号館のあたりに理科棟（仮称）が作られ、最後に、太田川に面するところに、2 階には食堂、3 階には図書室と隣接する多目的なスペースとして、ICT を利用した学びやアクティブラーニングなど幅広い教育活動ができるラーニングコモンズ（仮称）が作られ、一連の建て替えが 2019 年春に完了する予定です。本館の改修も含めて 2019 年 4 月より全面運用することになっていますので、お気軽にお立ち寄りいただき、ゆっくりと母校を見ていただくと幸いです。

クラブ活動も活発に活動し成果を出しています。2016 年度は、インターハイに、柔道、ボクシング、体操、自転車競技、テニス、剣道、フェンシングの 7 競技、国民体育大会には、柔道、ボクシング、体操、自転車競技、テニスの 5 競技、全国選抜大会には、柔道、バレーボール、ボクシング、体操、自転車競技、テニス、剣道、ラグビーの 8 競技が出場しました。特にインターハイでは、ボクシングのライトフライ級で優勝、全国選抜大会では、柔道が団体で 3 位になりました。また、ラグビーも念願の初出場を果たしました。大会の際には、多くの同窓の方々が会場に足を運んでくださり、応援して下さることが選手の大きな励みになっており、有り難いことと感謝しております。また、今年の県総体も近づいてきました。県総体には、19 競技 259 人が出場することになっています。インターハイ目指して奮闘し、今年もたくさんのクラブの出場が期待されます。

最後になりますが、崇徳学園は今年 143 年目を迎えています。およそ 4 万人の卒業生のみなさんが各界においてご活躍されており、崇徳の卒業生であるということ、新たな結びつきが生まれることが多々あります。心強さを感じると共に、本当に有り難いことだと感謝せずにはおれません。これからも、みなさまの母校は、親鸞聖人のみ教えを根幹に据え、時代に即した教育の創生を推し進め、崇徳学園に縁を頂く教職員が心一つにして、崇徳学園の更なる発展のため精進して参ります。関東支部のみなさまのますますのご支援を心からお願い申し上げて、ごあいさつとさせていただきます。

新校舎建設による母校の更なる発展に寄与致します!

崇徳学園同窓会会長

山本 千曲 (昭和 51 年卒)

関東支部の同窓の皆様、平素は同窓会活動に何かとご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。

さて昨年 9 月 24 日（土）にホテルグランヴィア広島にて同窓会総会・懇親会を開催致しましたが、関東支部から黒川会長はじめ支部役員の皆様にご来場を賜り昨年度に引き続き「崇徳寄席」として関東支部幹事でもある柳家福治師匠により落語を演じて頂き、大盛況の総会・懇親会となりましたこと、改めて深く御礼申し上げます。

昨年度の同窓会の取り組みと致しましては、定例の正副会長会議、幹事会を数回づつ開催、同窓会総会懇親会に向けての準備を担当幹事の皆さんと進めてまいりました。また大本前会長の目指された「顔の見える同窓会」として、学園 PTA の皆さんとの懇談会や新たにクラブ顧問の先生方との懇談会を開催。また、崇徳祭への出店で同窓会の存在感を大いにアピールいたしました。

また文武両道の母校の教育振興を資する目的である奨学金制度による生徒への助成、またクラブ活動への激励費奨励費としての補助、そして芸術鑑賞への補助など現役生へのサポートと、卒業生全員へ記念品の贈呈など、同窓会として学園の教育活動に支援をして参りました。

とりわけ、関東支部の皆様には、柔道部、バレーボール部、ラグビー部などの全国大会出場に際しては、ご多用の中にもかかわらず連日会場に足をお運び頂き、熱いご声援を送り続けて頂きましたこと感謝申し上げます。

さて、ここでこの紙面をおかりしてご報告とお願いを申し上げます。昨年 7 月から待望の新校舎建設が始まりました。新校舎はコの字型で、昨今の教育情勢に鑑みた ICT 機器を設置した教室、理科室、食堂、図書室、そしてラーニングコモンズといった施設等が入るガラス張りの校舎です。本館・新中学棟・新理科棟をつなぐ形で建設が進められており、平成 31 年 3 月の竣工を目指しています。今から 2 年後の完成が待ち遠しい思いでいっぱいです。つきましては同窓の皆様には既にご案内のとおり、新校舎建設へ

大地の恵みをいっぱいを受けた元気な
国産原料を中心に昔ながらの製法でお
酢を造っています。
これからも、お客様に喜ばれるおいしく
て、体に良い商品を真心込めて造ってま
いります。

代表取締役社長 大地克史
昭和 51 年卒



セナリ株式会社 大地

TEL 0120-080-029 FAX 082-810-3111
http://www.sennari-oochi.jp

千福一杯いかがです〜

表情、いろいろ。



酒王 千福

平成 2 年卒 西岡 智生 電話 03-3664-1029

登録 商標



中国醸造

お酒は 20 歳を過ぎてから。

54 年卒 光若 由啓 電話 03-5475-6051

のご寄付につきまして何卒ご理解の上、できる限りのご協力を切にお願い申し上げます。

次に今年度より崇徳学園におきましては、平成 22 年から 7 年間お勤めになられた吉田義視校長先生がご退任となり、新たに第 12 代校長に昭和 56 年卒の高木哲典先生が就任されました。ここに母校卒業生が校長に就任という誠におめでたい報告をさせていただきます。

またこの度同窓会本部においては、永井健二副会長と事務局主事の田部哲夫先生がご退任になりました。両氏には長らくご尽力頂きましたことに対し、改めて深く感謝申し上げます次第です。つきましては樽本秀幸先生（平成 2 年卒）が事務局主事に、新たに久保成史先生（平成 6 年卒）、渡邊稔宜先生（平成 8 年卒）倉田信之介先生（平成 14 年卒）澤村隼人先生（平成 15 年卒）が事務局に加わりフレッシュな事務局体制になりました。

私と致しましても、多くの皆様のご理解ご協力により創立 150 周年を見据えた母校の更なる発展に寄与できますよう、これまで以上に行動範囲を広げ、各支部はもとより各クラブ OB 会にも出向かせていただき、皆様方からのご意見やご要望をしっかりと伺いし、できる限り同窓会に反映させ、より多くの皆さん方との親睦が図られ誇りのもてる母校となるよう、今年度も更なる活動の幅を広げ、より一層広がる同窓の輪をめざして頑張る所存です。

最後になりましたが、これからの学園の発展と関東支部の皆様方の益々のご健勝を心から念じ並びに同窓会へのますますのご支援を心からお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

ソフトテニス部近況報告

崇徳高校ソフトテニス部 顧問 **浜田 光人**

2000 年にインターハイに出て以来、16 年間インターハイ選手を輩出していない。

全く、私の不徳のいたすところではあるが、今年はとうとうインターハイが目指せるチームづくりができたと思う。

長い年月の中には数々の優れた選手がいたが、あと一步のところまで夢が終わってしまっている。選手と流した涙は数知れない。

全国大会に出て勝つことが至上命題のように感じ、ついつい技術の習得だけを追い求めて指導していたが、それは表層だけだったと感じている。

もっと足下をみて選手の「人間づくり」を土台にして、その上に技術があるのだと感じている。

また、選手には「ピラミッドは上からはつくることはできない」と諭し、常日頃の生活を大切にするように伝えている。

長い長い選手との悶絶苦闘の日々は、まだまだ続く。

卓球部近況報告

崇徳高校卓球部 顧問 **澤村 隼人**
(平成 15 年卒)

卓球部は文武両道をモットーに、特別進学コース 8 名、進学コース 14 名の総勢 22 名で日々練習に取り組んでおります。現在は校舎の建て替えに伴い、普段は東区スポーツセンターにて活動しております。昨年度の成績は団体が県大会 B 級出場（市内上位 4 校が県大会 A 級に進出）、シングル・ダブルともに最高で県大会ベスト 16 という成績です。少ない練習時間で効率のよい練習を自分たちで模索している成果が現れていると感じています。

何よりも顧問として嬉しいのは、団体メンバーに選ばれなかった生徒達が率先して団体メンバーの補佐にまわり、試合では声を囁らしながら応援している姿です。卓球という個人競技で、仲間を心から応援し全員で勝利に向かい進む背中を見て、今後への期待がますます膨らむばかりです。

〒162-0821
新宿区津久戸町1番地12号 中村ビル1F
TEL.03-3260-5888
電話注文・お持ち帰りも出来ます。

広島お好み焼 広島っ子

おきか
生粋心 翁庵

東京都新宿区神楽坂 1-10 アイダビル
PHONE 03-3260-2715

柳家 **福治**

電話 五十年卒 本名 山中英嗣
FAX 〇三ー五三七二ー一八〇二

電話 四四年卒 本名 占部正夫
FAX 〇三ー三八四五ー四一七九
Email Ushih@gaol.com

古亭 **菊丸**

パーティー・結婚式の司会・余興
ゴルフ・旅のお供
引越しの手伝い
落語会等、その他何でもお電話ください

崇徳高校新聞部の紹介

新聞部 顧問 花岡 健吾

新聞部は3年生が引退したため現在部員85名、幽霊部員も多い中で活動中です。創部当時から発行を続けている毎学期発行の「崇徳学園新聞」も2017年3月で223号を数えるに至りました。3年前からは学校のプリンタを用いて随時発行するB4版カラー片面刷の崇徳学園新聞「速報版」と「特集号」も始めており、こちらは発行開始2年半で250号を越えるハイペースで発行するなど精力的に活動しています(平成28年度は速報紙を年間141号発行しました)。

昨年8月に地元広島で開催された「文化部のインターハイ」と呼ばれる「第40回全国高等学校総合文化祭」の新聞部門で、生徒実行委員長を本校新聞部の生徒が務めるなど県下でも中心的な役割を果たすべく様々な活動を行っています。昨年末には広島県議会議長への高校新聞部としては初となる単独インタビューを行う機会を得たり、今年1月には県血液センターに協力した「卒業献血推進運動」の流れで湯崎広島県知事から直接話を伺う機会なども得ました。5月のオバマ元大統領来広の際にスクープを求めて駆け回ったり(いい写真が入手できて地元テレビ局に褒められました)、オバマ元大統領が広島に残した献花の一部やネームプレートを譲っていただいたこと(現在本校新聞部が管理・保存しています)で恒久平和を発信する意義や方法について色々と考えたり、カーブ優勝の際には25年間たまっていた市民の声や喜びを拾い上げるために街に飛び出してみたり、地元の広島FM(HFM)とコラボして何度か部員がラジオに出演させていただいたりなど、報道する立場でありながらも全国・地元新聞や他メディアにも我々自体が取り上げられるような「他では出来ない体験」と「とにかくやって楽しい取材」が最近出来るようになってきました。とはいえ現状には満足せず、さらなる向上を目指すために日々工夫しながら活動しています。

そんな活動の成果か、昨年度は「第1回広島県高等学校新聞コンクール」では「最優秀賞」(県単独1位)、「第3回高校新聞部インターハイ新聞コンクール」では2年連続「優秀賞」(全国2位タイ相当)、新聞の甲子園ともいわれる「第46回全国高校新聞コンクール」でも「優秀賞」(全国6位タイ相当)など、校外からも高く評価していただきました。また「第21回全国高校新聞年間紙面審査賞」では初めて一次審査を通過し、今夏仙台市で開催される「第41回全国高等学校総合文化祭」への出場権を得ることも出来ました(全国大会への出場は4年連続4回目。今夏行われる最終審査で「優良賞」受賞以上が確定しています)。前述の「全国高校新聞コンクール」優秀賞受賞時に高文連全国新聞専門部事務局長の先生から「(全国コンクールで)優秀賞を受賞するということは全国のトップレベルに到達したということ」とお褒めの言葉をいただき、部員ともどもそのことばに恥じないように努力しているところです。

この躍進の原動力は何より現役部員の日々の意識の高さと向上心です。彼らの頑張りでこのような成果を残せています。4年前の3月には部員が0だったというのが嘘のようです。以前は「新聞部って何やってるの?」「新聞部の大会って何するの?」とよく聞かれたものですが、最近では学校内でも存在感が少しは出てきたように思います。来るものは拒まず、去る者は追わずで活動しているため幽霊部員も多いですが、楽しみたい部員がトコトン楽しめる環境を顧問として出来るだけ提供できる環境作りをしたいと考えています。

随時ニュースのネタを募集中です。なにかネタがありましたら是非本校新聞部までご一報ください(笑)。

崇徳学園関東支部 役員名簿

役職	卒年	氏名	役職	卒年	氏名	役職	卒年	氏名
顧問	S16	西村 克哉	幹事(会計補佐)	S37	藤森 剛	幹事(会計補佐)	S51	藤井 康司
名誉顧問(GOLF会長)	S24	岩部 金吾	幹事	S38	善本 正教	幹事	S52	應武 篤良
会長	S33	黒川 弘	幹事	S40	浅邊 正	幹事	S52	榊田 基裕
副会長(代表監事)	S24	渡部 昭彦	幹事	S42	上村 彰	幹事	S54	光若 由啓
副会長(事務総括)	S29	瀧口 裕行	幹事	S44	占部 正夫	幹事	S54	上平 義治
副会長	S35	小笠原 眞二	幹事	S44	幸田 俊三	幹事	S55	川崎 哲司
副会長(会計監事)	S37	栃林 範邦	幹事(事務局)	S48	重本 康成	幹事	S55	田村 淳
副会長	S46	室崎 宏治	幹事	S49	津川 博光	幹事	H02	西岡 智生
幹事	S34	井原 文之	幹事	S49	三雲 龍範			
幹事	S36	重元 喜彦	幹事	S50	山中 英嗣			



この度、弊工場は自主的な衛生管理を推進すると共に、一定水準以上の食品衛生管理を行っているとして認められる施設として、広島県食品自主衛生管理認証を取得致しました。

株式会社 山 豊

〒731-3196 広島市安佐南区伴東町79-2
TEL 082(848)7778(代) FAX 082(848)2334

0120-311238

URL <http://www.yamatoyo.co.jp>
e-mail y-info@yamatoyo.co.jp

心のこもった旬の広島菜漬「安藝菜」を、大切なあの方へ...



内閣総理大臣賞受賞
農林大臣賞受賞
農林水産大臣賞受賞
H.14 S.50 S.46



安 藝 菜
あ き な

会 長 山本 豊 (昭和19年卒)
代表取締役 山本 千曲 (昭和51年卒)